



～図書室にはこんな本があります～

No. 48

★ 今回は、昭和館図書室で利用できる図書、CD資料のご紹介をします。

◆  図書と、 CD-ROM の利用法を比べてみました。

◎ 参考図書の『世界大百科事典』を使う。



『世界大百科事典（全35巻）』は、開架児童書の棚にあります。

1. 31巻、索引（R031 Se22 31）で「昭和」をしらべます。
2. 「昭和時代」という項目が見つかり、13 - 588 因とあるので、13巻の588ページ、左段に掲載されていることがわかります。
3. 13巻（R031 Se22 13）を取り出し、内容をよみます。

※ コピーができます。

◎ CD-ROM の『世界大百科事典』を使う。



『世界大百科事典』CD-ROM版の利用は、請求が必要です。

1. 検索ディスクを入れ、索引検索で「昭和」と入力します。
2. 検案件数25件が表示され、その中から「昭和時代」という項目を選択します。
3. 内容が表示され、関連項目なども見ることができます。

※ プリントアウトはできません。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。

検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。

操作方法等がわからない場合は、カウンター職員までお気軽に…。

・・・もう一冊！！！！・・・46

夏休みも、そろそろ終わりに近づきました。今年の夏は暑いのか寒いのか・・・変な陽気でした。その変な陽気のせいでもありませんが、最近神田の古本屋で買った本を、銀行のATM機の上に置き忘れるという、筆者人生最大の忘れ物をしてしまいました。すぐに気が付いて引き返したのですが、届いていませんでした。

筆者は、知る人ぞ知るポカの名人で、忘れ物は日常茶飯事、出勤日を忘れて寝込んでいるところを「お客様がお待ちです」と電話で呼び出されたこともあるくらいです。（家が近かったので、何とか遅刻にはなりませんでしたが・・・念のため）。それでも、本だけは忘れてはしなかったのに、思わず「ウーン！惚けたか・・・」とため息を突きました。買った本は、お約束のがらくた本ですが、とにかく自分が選んだ本を忘れた、という事自体が許せず、がっかりしたのです。

そう思ってみると、最近うっかりミスが増えたようで、きっと頭の中の配線が痛んでいるのだろうか、などと思います。本を探し、本を読むことだけが生き甲斐のような筆者にとって深刻な気分でした。

と、まあ、しばらく落ち込んでいたのですが、2日ほどたってから念のために銀行に電話をしたら、忘れ物として届いていました。

運命に引き裂かれ、二度と会えなかったかもしれない本と、奇跡の再会ができたような気分でした。（ちょっと大袈裟ですが）「ああ、良かった。」と思いました。・・・でも、忘れた事実は消えません。「古本さん、ご免なさい。今後は絶対に置き忘れてりしませんから、古本運が逃げませんように。」と急いで神保町の四つ角に向かってお祈りしました（ホントです）。

今回は、大事な「もう1冊」を置き忘れた話になってしまいました。次回は、ちゃんと実のある話にしましょう。(午睡)



—図書室から—

いつになく涼しかった8月15日、蝉もころもなしか鳴き足りない様子です。気がつけば秋風の気配、暑い夏は、どこへ行ってしまったのでしょうか？

* 児童書棚を増設しました。

情報検索システムのリニューアルとともに、新たに児童書棚を設け、別置しました。児童・生徒の学習がしやすいように百科事典も一緒においてあります。ご活用ください。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ No. 48

2003年8月23日 発行

編集・発行 昭和館 図書室

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1